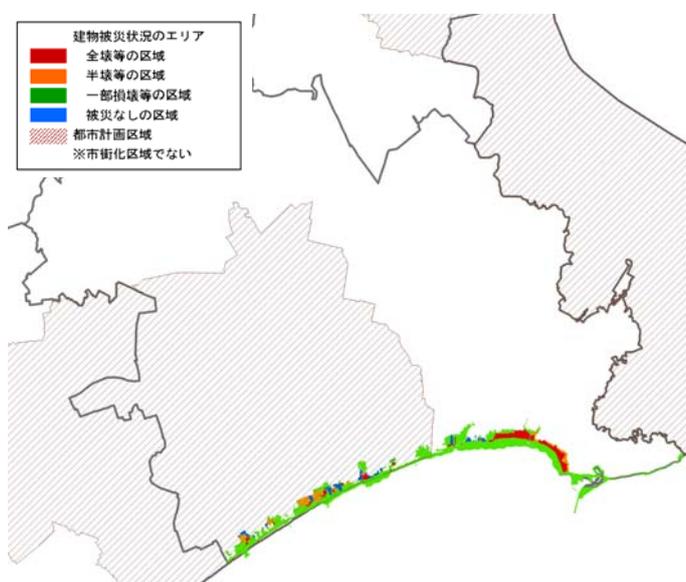


東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その30)

旭市 調査総括表(1/2)

調査番号	その(30)	県名	千葉県	市町村名	旭市			
1. 被害の状況等								
(1) 被災前の人口(H22.10.1)			(2) 浸水被害状況図					
総人口	70,016 人							
年齢階級別人口								
項目	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上					
人口	9,023	44,533	16,460					
比率	12.9	63.6	23.5					
(2) 人的被害の状況(H23.12.31)								
死者	13 名							
行方不明者	2 名							
(3) 都市計画等の状況								
都市計画区域	一部都計							
市街化区域	区域区分無							
用途地域	用途地域指定有							
(4) 建物等被災の状況 ※割合は行政区域等の各区域に示す割合								
区域	総面積 (ha)	全壊区域		半壊区域		一部損壊区域		流出棟数
		面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	
行政区域	12,991	40.4	0.31	32.5	0.25	264.1	2.03	0
都市計画区域	5,020	7.3	0.15	22.1	0.44	95.6	1.90	0
用途地域	575	0	0	0	0	0	0	0
2. 復興計画の策定状況								
(1) 復興計画等の策定状況								
	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント				
復興計画	旭市復興計画	平成 24 年 1 月 30 日	有	有				
その他の方針・計画								
(2) 復興計画の策定方法等での特質(住民参加・大学との連携等・方向性の変更等)								
・旭市復興計画検討委員会：学識経験者 船倉武夫教授（千葉科学大学） 丸山喜久准教授（千葉大学大学院）								



旭市 調査総括表(2/2)

3. 復興計画の概要(市町村全体)		
(1) 整備の基本的な考え方	(2) 整備にあたっての基本的な方針	(3) 復旧構想図(市町村全体対象)
<p>1. 都市構造の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地復興を基本とし、集団移転、地盤嵩上げ等を行わない。 <p>2. 津波への対応</p> <p>L1: 海岸保全施設(海岸減災林) (TP+6.0m) の整備により生命財産を守る。</p> <p>L2: 避難を最優先する。</p> <p>(1) 現道路を拡幅または新設して避難道路を配置し、車および徒歩によって避難する経路を確保する。</p> <p>(2) 車で避難できない人を対象にした、津波避難ビル等(避難タワー、避難公園)を配置する。</p> <p>(3) 潮害防備保安林を再整備し、海岸減災林を堤内側または堤外側に配置する。</p>	<p>海岸堤防整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸減災林を堤内側または堤外側に整備。 	<div style="text-align: center;"> <p>復旧・復興施設のイメージ</p>  </div>
	<p>河川堤防整備方針</p> <p>—</p>	
	<p>2 線堤等の方針(含む緑地)</p> <p>—</p>	
	<p>市街地整備の方針</p> <p>—</p>	
	<p>交通体系の方針</p> <p>—</p>	
<p>避難体系の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線等による情報伝達などソフト対策を強化。 避難道路(新設、拡幅、現状利用)の整備を促進。 津波避難ビル指定、避難タワー、津波避難公園の整備を検討。 		
<p>産業地域の復旧方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光、農水、商工業のバランスのとれた産業の推進。 		
地区別の方針の概要		
<ul style="list-style-type: none"> 潮害防備保安林を再整備。(松林がマツクイムシ等で傷んでいる。) 海岸減災林を堤内側または堤外側に整備。 車および徒歩で避難する人を対象に、避難道路(新設、拡幅、現状利用)を海岸部から内陸側に配置。 逃げ遅れた人または徒歩で避難する人のために津波避難ビル、避難タワー、津波避難公園の整備を検討。 		
地区名	復興の基本的な考え方	
全体(飯岡地区・旭地区)	<ul style="list-style-type: none"> 短期的には、避難道路の整備、避難ビルの指定等を行い、ソフト面を重視した避難対策を実施する。 中期・長期的には、海岸減災林(防潮堤嵩上げ)等を整備し、住民だけでなく海水浴客等の観光客も安心して来訪できるハード対策を行なう。 	